



ネイチャーセンターだより

2017年4月号

いきもの図鑑

ザゼンソウ (サトイモ科)

和名：座禅草

ミズバショウと同じサトイモ科の仲間。湿地で4月下旬頃から葉が伸びないうちに咲く。ミズバショウと同じく、赤紫色のは花を包む苞(ほう)で、その中にあるブツブツしたのが花。名の由来は、座禅を組んだ達磨太師に見立てたもの。去年は自然学習林で、例年になく至る所でよく見られた。独特においがあるので、背を低くして嗅いでみよう。



【上旬】

太陽のぼかぼか陽気が嬉しい。雪が解け、土の匂いが懐かしく喜びを感じられるのもこの時期ならではの。森は白や茶色だった色彩が、フクジュソウやミズバショウの花ばなで華やぐ。ハシブトガラやゴジュウカラの小鳥たちがさえずり始め、一気に賑やかになる。

4月の見どころ



自然学習林の水辺



旅の途中 / ミヤコドリ・メダイチドリ



根室で繁殖 / コムクドリ

【下旬】

繁殖のために鳥たちが続々根室に渡ってくる。オオジシギ・アオジ・コムクドリなどは草原や森へ。ミヤコドリなどシギ・チドリの仲間は、旅の途中に休憩のため風蓮湖に立ち寄る。タンチョウの夫婦が湿地でエサを探し歩き、繁殖の準備を始める。

見どころMAP

風蓮湖で休憩したオオハクチョウやカモの仲間が繁殖地へ旅立ちます。下旬にはほとんど見られなくなります。

ミズバショウやフクジュソウ、エゾエンゴサクなどが次々に開花、春の訪れを感じさせてくれます。

ヒバリやオオジュリンなど小鳥たちが、繁殖のため草原に渡ってきます。明るい声でさえずります。



冬に開通したキタキツネコースは、立ち枯れた木々の間を歩きます。どこにもない景色を楽しむことができます。

ミヤコドリが例年 50 羽前後渡ってきます。干潮時に 2 枚貝を探しています。

タンチョウ夫婦が湿地で繁殖します。エサを探して歩く姿が見られます。

自然学習林の巣箱で、シジュウカラやハシブトガラが繁殖します。巣材運びに大忙しです。

- 観察路 (ヒバリコース 1.2km、約 25分)
- 観察路 (ハマナスコース 1.4km、約 30分)
- 観察路 (キタキツネコース 0.8km、約 20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース 0.5km、約 15分)

- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 観察路 (小鳥の小道 1.4km、約 30分)
-  根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
-  東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

 通行止め

紹介します！キタキツネコースのいいところ

トピックス

春国岱のキタキツネコースは、立ち枯れの間を約 200m 歩くと湿原に抜ける、清々しさ満点のコースです。初夏にはシマセンニュウやコヨシキリなど小鳥の繁殖場所となり、早朝はさえずりで賑わいます。秋にはキリンソウの花が咲き、湿原は緑から黄金色に変わり、色のグラデーションが見事です。冬は何とも表現しがたい寂りょう感が漂います。季節の表情はもちろん、天候でも印象は変わります。何度もキタキツネコースを歩いて、その魅力を感じてください！



終点の風景 9月



何もないのがいい 2月



一定方向の枝がない立ち枯れ 3月

蚊にひるまないで!!

湿地なので、夏の期間はどうしても蚊の大群に出くわします。虫除けスプレーは必須です。全身タオル・手袋・帽子などをまとって歩きましょう。黒や体にピタッとする服は、蚊のえじきに…！風速が 2m 以上ある時は、蚊の活動もおとなしいので、ねらい目です。

流氷がもたらす恵み

流氷が、2年ぶりに根室湾に入りました。
春国岱で最初に確認したのは、3月12日。市内の根室港より6日早く、平年より28日遅い観測でした。

2月中頃までは、海氷が約10キロ先の沖までありました。この頃はアザラシが多い時で20頭以上、ゴロンと氷上でお昼寝する姿が望遠鏡で確認できました。気温が高い日が数日続き、徐々に海面が開いてくると、ホオジロガモやカワアイサなどのカモ類やシロカモメ・オオセグロカモメの海鳥の姿が見られ、居場所を見つけた！とばかりに、群れでエサを探していました。そんな時に思いがけず流氷で埋め尽くされ、みたび海の景色が変わったのでした。

流氷はシベリア沿岸で生成された海氷が、流れ着いたものです。海氷はたくさんの植物プランクトンを含み、春にプランクトンの量が一気に増えるといわれています。植物プランクトンから小魚・貝類—大型の魚—アザラシなど海獣、海鳥の食物連鎖が起こります。流氷は、渡り鳥たちを支える大切なもののひとつです。



流氷は観光客も連れてきてくれる力が！

カモたちの渡りの季節！

オオハクチョウの飛来数調査を例年この時期に実施しています。3月16日には風蓮湖・温根沼周辺で約860羽を確認。例年に比べ1/3しかいないのは、流氷によるものと考えられます。今シーズン流行した鳥インフルエンザは、渡りの時期はまだ警戒が必要です。弱っている鳥を見たときは、根室振興局にお知らせください。TEL23-6823



春国岱クイズ

春になると子育てのために、根室の湿原へやってくるタンチョウ。
いつも下を向いてエサを探している。
魚や貝、クモにどんぐり、何でも食べる雑食だよ。
でもA～Fの中で食べないものが一つある。どれかな。

A とんぼ

D ザリガニ

B 牧草

E チョウ

C カエル

F セリの芽



イベント情報！

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは春国岱ネイチャーセンターへ
電話（0153-25-3047）もしくは直接のご連絡をお願いいたします。



春国岱ネイチャーセンターでは、バードウォッチングや、春国岱・干潟での自然観察会、外部から講師を招いてお話を聞く講演会など、年間9回の行事を催しています。

今年も皆さんに風蓮湖・春国岱をもっと好きになってもらい、関心を持ってもらうために、気軽に楽しく学べる行事を計画中です。

行事の開催は、ネイチャーセンターのホームページほか、市役所や市内のスーパーなどでもポスターにてお知らせしています。



予告!

5月中～下旬の日曜日 早朝6時頃～
「春のことりバードウォッチング」(仮)
小鳥たちの美しいさえずりシャワーを浴びに
森を散歩します！気分転換にGOOD！

募集中!

ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを募集中です。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月に1回ミーティングを行い、自然学習木の樹名板を作ったり、イベントを企画しています。熱いながらもゆるーく楽しい集まりです。ご興味のあるかたはご連絡ください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆年会費（保険料）：300円



フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆4月休館日：5・12・19・26日（GWは開館しています）

◆5月休館日：1・8・9・10・11・17・24・31日

開館時間：9：00～17：00

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。

（要事前申込）

クイズのこたえ B 牧草



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録